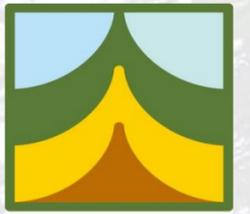


ご案内



一般社団法人 日本産天然精油連絡協議会

J-NEOA

第1回シンポジウムの開催について

この度、一般社団法人「日本産天然精油連絡協議会」では、活動の一環としてシンポジウムを開催する運びとなりました。

日本産精油が産業として大きく成長し地域社会での連携や経済効果をもたらす、多くの人たちに国産精油の現状や活用の仕方について、より理解を深めていただく、より信頼できる精油作りのためにすべきこと、生産現場から見た国産精油の課題や今後の展開などにつきまして、現状を共有し、未来に向けて歩を進めていくという主旨でございます

日本産天然精油のメーカーの皆様そして魅力を感じて活用したいと考えている皆様、すでに活用されている皆様、国産精油について興味をお持ちの皆様のご参加をお待ちしています。

◎開催日：2019年3月10日（日）

◎時間：12:30開始～17:30終了

◎場所：明治大学 紫紺館3階 S3・S4会議室

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-22-14

◎参加費：一般¥9,000 会員：1,000

（お申込み前に会員登録をいただきますと、会員価格でご参加いただけます）

◎定員：80名

◎参加申込方法（先着順）：

メールにてご参加者名、ご参加人数、ご住所、電話番号をお知らせください。
事務局から参加費お支払いに関するメールを返信させていただきます。

（一社）日本産天然精油連絡協議会事務局（担当：平塚）

新宿区納戸町3 グランドPモナコビル2F(香りの健康ライブラリー内)

Mail: <https://j-neoa.or.jp/inq/inq2.html>

12:00～ 受付開始

プログラム

12:30～12:45 農林水産省 事務次官 末松広行様ご挨拶

12:45～13:00 理事長ご挨拶（津野田理事長）

13:00～13:50 基調講演：植物精油の多様な働きとその利用（谷田貝理事）

一般講演（講演40分、質疑応答10分）：

14:00～14:50 生産現場から見た日本産天然精油の現在と未来（碓井理事）

14:50～15:10 休憩&交流

15:10～16:00 信頼できる精油を提供するために、そして水蒸気蒸留について（長島理事）

16:00～16:50 日本産天然精油と身体リズム（稲本専務理事）

16:50～17:10 一般社団法人「天然精油連絡協議会」の今後の活動方針（光永理事）

17:10～17:20 質疑応答

17:30 閉会

（キャンセルポリシー）

*お申込み後に、やむを得ない理由によりキャンセルされる場合は、事務局までメールにてご連絡ください。

*お申込に際し、ご入金後のご返金はいたしかねますので、予めご了承ください。



<講演要旨>

●基調講演「日本産天然精油の化学成分と機能性について」（谷田貝理事）

【要旨】

植物の香りには抗菌・抗カビ、害虫忌避、消臭など、多様な働きがあり、古くから生活の中で利用されてきました、最近ではわが国に生育する植物の香りがストレス解消や肥満抑制、ガンや胃潰瘍などの病気の予防・治療に効果があることなど、健康を維持するのに役立つことも明らかにされてきています。植物精油の生物活性とその利用可能性について検討し、今後の精油利用の方向性について考察します。

【演者略歴】

東北大学理学部大学院博士課程修了、森林総合研究所生物活性研究室長・研究科長を経て、東京大学大学院教授、秋田県立大学研究所所長などを経て、現在、NPO炭の木植え隊理事長、一貫して植物成分利用の研究・普及に従事してきた。東京大学名誉教授



●生産現場から見た日本産天然精油の現在と未来（碓井理事）

【要旨】

沖縄の山野に群生するショウガ科の月桃から爽快な香気の精油を得られます。月桃の葉で餅を包んだムーチーという菓子の香気は沖縄の人々の郷愁を誘います。月桃精油には抗菌、昆虫忌避作用があり、月桃精油及び精油を原料とした家庭用品を製造販売しています。沖縄では2種類の月桃が生息しており、それぞれ特長があるので2種類の精油を生産し月桃に特化して活動しています。蒸留の現状と解決したい課題について述べたいと思います。

【演者略歴】

日本月桃（株）／（有）月桃農園代表取締役。AEA Jインストラクター、甲種危険物取扱者。1992年日本月桃に入社、1995年代表取締役就任。沖縄の植物月桃の有効活用の一環として月桃精油と蒸留水を生産。



●「信頼できる精油を提供するために、そして水蒸気蒸留について」（長島理事）

【要旨】

使う人たちに信頼される精油や芳香蒸留水を生産し提供する。生産に携わる側がいつも心がけていなければならない重要な課題です。この講演では、良質の精油を安定的に消費者に提供していくために、生産者がしておきたい事項について原料管理、生産管理、品質管理の各項目に分けて解説します。また、水蒸気蒸留の理解をより深めていただくために、なぜ水で精油が得られるのか、蒸留をより効率的にという視点で解説します。

【演者略歴】

明治大学大学院 農学研究科修士課程修了
高砂香料工業株式会社にて、天然精油や天然物化学関連の研究開発、工業化などを担当した後、海外技術関連部門に従事。
現在は香りとハーブについてサイエンスを中心にした講演や執筆活動を展開。



●日本産天然精油と身体リズム（稲本専務理事）

【要旨】

日本には約6000種の維管束植物が生息して、英国の1600種の約4倍近くで、固有種に至っては10倍以上も多い。その事もあり日本では多様な精油が抽出出来る可能性が高く、その上、日本産精油は日本人に受け入れられ易い事も分かっている。

それだけでなく、近年、各方面での研究が進み、同時に多くのセラピストから、その作用についての報告も徐々に集まりつつある。今回、いくつかの事例を紹介するが、日本産精油を使った製品と身体リズムの関係を報告させて頂き、今後の展望なども述べさせていただきたいと思えます。

【演者略歴】

正プラス(株)代表。日本産精油のブランドyuicaを立ち上げ、その普及に尽力している。
近年は、教育部門として「yuica認定日本産精油総合講座」を開設。
2018年、岐阜県教育委員としての功績を称えられ文部科学大臣賞を受賞。



会場アクセスマップ

